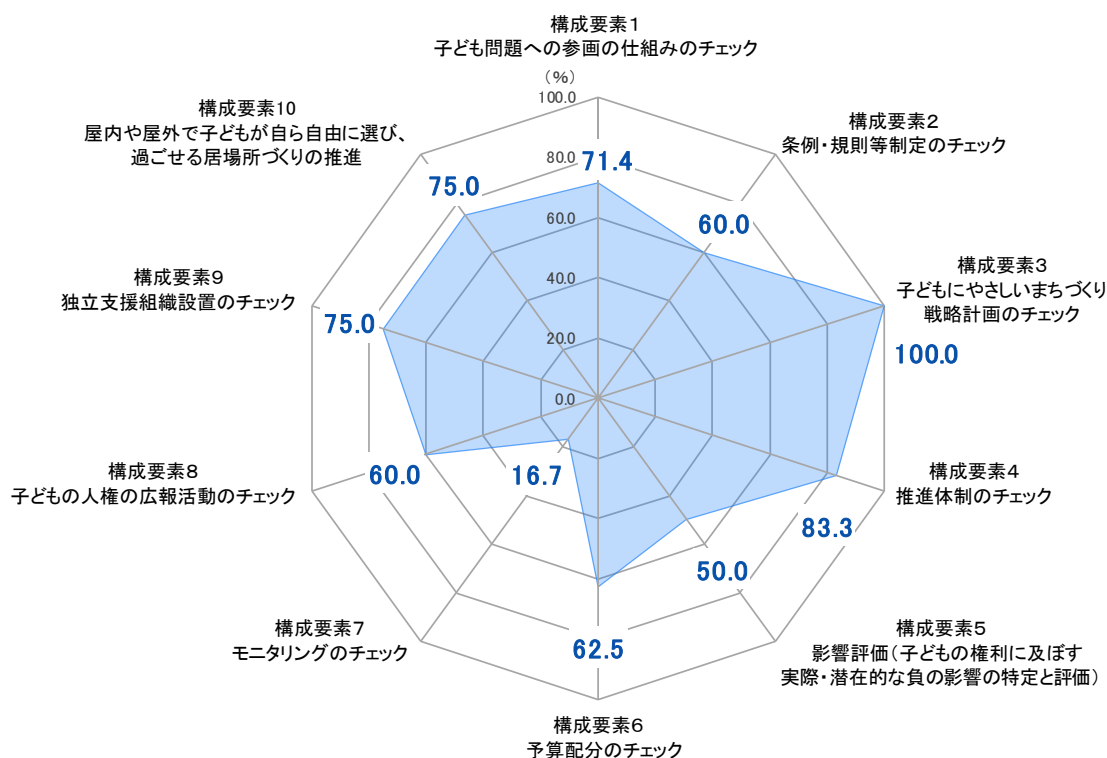


子どもにやさしいまちづくり事業(CFCI) 自己評価及び取組状況について

町田市は、2021年12月に日本ユニセフ協会CFCI委員会から承認された「子どもにやさしいまちづくり事業実践自治体」として、全国でも先駆的に「子どもにやさしいまちづくり」を進めています。現時点の取組状況と今後の取組をご報告します。

【現在の評価状況（2023年3月時点）】

CFCIの評価ツールである、『ユニセフ「日本型子どもにやさしいまち（CFC）モデル構成要素10項目及びチェックリスト」（町田市版）』を用いて2023年3月に自己評価を行いました。2022年2月の時点から評価結果に変更はありませんでした。



【2022年度取組内容】

「子どもにやさしいまちづくり」の実現に向け、2022年度は以下の取組を実施しました。

①新規採用職員向け研修の実施

チェックリスト項目1-3「子どもの意見尊重、子ども主体目線に関する、職員向け研修」を推進するため、CFCIに関する研修を、職員課と共に新規採用職員向けに実施しました。

講師・内容：＜一部＞（公財）日本ユニセフ協会の三上シニアマネージャー
「ユニセフの取組について」

＜二部＞町田市の担当職員「町田市の取組について」

参加者数：新規採用職員47人

②児童厚生員向け研修の実施

チェックリスト項目8-4「子どものために働く者を対象とした子どもの人権研修」を推進するため、子どもセンターの児童厚生員を対象に「子どもの人権研修」を実施しました。

講師・内容：(公財)日本ユニセフ協会の三上シニアマネージャー
「乳幼児期から人権を考える」

参加者数：53人

③CFCIチェックリストの拡充

CFCIチェックリストの各項目に該当する事業は、主に子ども生活部門計画「子どもマスタープラン」からピックアップしていましたが、「子どもにやさしいまちづくり」の理念を子ども生活部だけでなく庁内に広く浸透させるため、次の総合計画及び他の主要分野別計画から関連事業の洗い出しを行い、CFCIチェックリストの「構成要素1 子ども問題への参画の仕組みのチェック」や「構成要素3 子どもにやさしいまちづくり戦略計画のチェック」に位置付けました。

・町田市5ヵ年計画22-26	・第3次町田市環境マスタープラン
・町田市教育プラン2019-2023	・町田市都市づくりのマスタープラン
・町田市生涯学習推進計画2019-2023	・町田市地域ホットプラン
・第三次福祉のまちづくり推進計画(素案)	

④子どもの参画推進事業の実施

有識者や公募市民に加え、高校生も参加した町田市市民参加型事業評価をはじめ、「(仮称)町田市子どもにやさしいまち条例」制定に向けた「子ども参画ミーティング」や、「子どもセンターまあち」における小倉子ども政策担当大臣と若者との意見交換会、及び町田市長と若者が語る会等において、子どもの意見を聴取しました。

本取組は、子ども家庭庁が求める政策の先行事例であるとして、国の委員会において高い評価を受けると共に、町田市業績表彰を受賞しました。

【今後の取組について】

次の取組を実施することで、引き続き「子どもにやさしいまちづくり」を推進します。

①「(仮称)町田市子どもにやさしいまち条例」の制定

2023年度の制定に向けた準備を進めており、CFCIチェックリスト項目2-4「子どもの権利条約の4つの一般原則の適切な反映」の改善が見込まれます。

②「まちだ若者大作戦」の実施

条例制定の機運醸成に向け、子ども・若者が“やりたいこと”を市の後押しによって実現する「まちだ若者大作戦」を実施することとなり、5月15日から取組のエントリーを開始しました。(別添参考資料参照)これにより、チェックリスト項目1-1「行政活動全般にわたって、子どもの権利条約12条(子どもが意見を表す権利を持つこと)の原則が反映される仕組み」の更なる発展が見込まれます。

担当：子ども生活部 児童青少年課